

令和3年11月26日 小田原市立酒包幼稚園

さくら組

季節は秋から冬に近付き、木々の葉の色や数がずいぶんかわってきました。子どもたちが登園途中に 発見して園に持ってくる木の実や葉、枝などからも自然の移り変わりの美しさが感じられます。登園し ながらの自然とのふれあいも大切にしていただき、子どもたちの心に素敵なものが育つことを願ってい ます。

11 月は遠足、サッカー教室、玉ねぎの苗植え、わくわくデイに向けての活動など様々な体験があり ましたが、子どもたちが新しいことにも進んでかかわろうとし、大きな成長を見せてくれました。

サッカー教室

酒匂 FC のコーチにサッカーの指導をしていただきました。子ども たちが楽しんで取り組めるようにしっぽとりでウォーミングアップを し、たくさんのボールを使ってみんながボールに触れることのできる 楽しい体験となりました。それまであまりボール遊びをしなかった子 が教室後サッカーに意欲的に取り組む姿があり、体験してみることの 大切さと、子どもたちをその気にさせるコーチの指導の上手さ を感じました。これから寒くなりますが、サッカーを続けて元 気に活動できるとよいと思っています。



玉ねぎ苗植え

いつも畑のことで お世話になっている 鈴木さんと JA のご 協力をいただき、そ だてやさん(幼稚園 の畑)に玉ねぎの苗 植えをしました。収 穫のころにはみんな が年長になっている のですね…早いもの です。

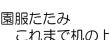






自然物を使って

遠足でもたくさん見つけました が、秋は木の実や葉が落ち、子ども たちがたくさん拾ってくれます。そ んな木の実や葉を使ってマラカス を作ったり、絵をかいたり、制作を したりと遊びの中でたくさん活用 しています。自然の不思議さや変化 を感じながらの活動も大切にした いと思います。



これまで机の上に脱 いだ園服を広げて置い てたたんでいましたが、 持ってたたむ方法を教 えると、すぐに挑戦する 子がたくさんいました。 自分でできることが増 えるのは子どもたちに とって大きな喜びと次 への意欲になっていま す。



12月のさくらぐみ

〇自分の思いや考 えを友達に伝え なから遊ぶ。 〇秋から冬への自 然の変化に目を 向ける。